

男子全国大会への出場

囲碁将棋部 顧問 安齋 隆

昨今将棋においても囲碁においても女性棋士の活躍が華々しいが、競技人口としては、男性のほうが女性よりも圧倒的に多いというのも現状である。従って、夏と冬の男女別の全国大会への出場は、女子も決して易しいものではなく難しいのだが、男子ではそれにもまして難しい。囲碁では以前団体戦で夏の全国大会に出場した（女子も参加可能だが男子のみのチームであり、全国の他校も同様であった）が、将棋では今年度初めての男子で全国大会への出場を果たすことができた。（女子では昨年度ほぼ30年ぶりの出場を果たしている）冬の全国新人大会への予選を兼ねる、11月の県の秋季将棋大会において、2年生の辻明毅君が準優勝を果たし、12月の関東大会と、2月の全国新人大会への出場権を手にしたのである。

現在本校の囲碁将棋部は、各人の力に合わせてより上を目指すという姿勢で活動を行っている。つまり、初心者は初心者なりに、上級者は上級者なりにという自分の力を向上させることを目標にしている。このような在り方では、上級者には不利になりがちであり、何よりも辻君個人の研鑽によって全国大会への出場を果たしたことは快挙である。来年度での春季大会、竜王戦に向けて部として応援できることは何なのかを考え、また、彼を交えた団体戦に関しても、これまで以上に努力したいと思っている。

来年度の課題は以上のように全国大会への連続出場がその一つとなったが、部員数の確保は依然として大きな課題であり続けている。ビデオゲーム人口がこれだけ大きくなっている現在、日本版の伝統的なボードゲームである将棋や囲碁に向かう人数は減少する一方であるが、人と人が直接相対して行うゲームの楽しさは格別のものがある。どのようにしてそれを伝えて部員数を増やすのが今後も課題であり続けるだろう。

現在生徒たちは自分たちで戦法の研究を行い、互いに切磋琢磨している。このよき伝統を絶やすことなく、更に発展させて行きたい。